

<開催のご案内>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」
科学が好きな子どもを育てる教育実践論文 全国 172 の小・中学校より選ばれた「最優秀校」

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
11月29日(金) 鹿児島大学教育学部附属小学校

記念講演: 京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授 井口 正人氏
後 援: 文部科学省、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田 昌夫)は、2018 年度、「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた鹿児島大学教育学部附属小学校(鹿児島県、校長:假屋園 昭彦)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文は、1959 年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、小学校・中学校の理科や生活科の実践と、その考察に基づく計画を募集しています。2018 年度は、全国から 172 校よりご応募をいただきました。

今回、「全国大会」を行う附属小学校は、本プログラムの審査委員長である御手洗 康氏(元文部科学事務次官)ら 6 氏による審査や、現地調査を経て、「最優秀校」を賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」そして、「主体性」を育む取り組みや成果について、公開授業、研究発表などを通じ、全国の先生、教育関係者のみなさまに広くご紹介します。



子ども科学教育研究全国大会(公開授業・研究発表) 開催概要

鹿児島大学教育学部附属小学校(鹿児島県)

研究主題: 鹿児島の自然に親しみ、学びの価値を実感する授業

開催日時: 2019年11月29日(金) 8:40~16:30

会場: 鹿児島大学教育学部附属小学校
鹿児島県鹿児島市郡元一丁目20番15号 Tel:099-285-7962

時程: 【開会行事・研究発表】 8:40 ~ 9:10
【公開授業 A】 9:25 ~ 10:10
【公開授業 B】 10:30 ~ 11:15
【授業者と語る会】 11:30 ~ 12:20
【ポスターセッション】 13:20 ~ 14:20
【記念講演】 14:40 ~ 16:15

記念講演: 京都大学防災研究所火山活動研究センター 教授 井口 正人氏
演題「火山活動の理解に基づく地域の発展」

参加費: 1,000円(資料代)

※ 開催についての詳細やお申込みは、鹿児島大学教育学部附属小学校のホームページをご覧ください。
<http://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/eschool/kenkyu/>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 最優秀校

鹿児島大学教育学部附属小学校（鹿児島県）

鹿児島の自然に親しみ、学びの価値を実感する 鹿大附小プラン 2019

論文全文(http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_sci_kagoshima.pdf)

【審査講評(抜粋)】

地域の小学校教育を先導する実践的研究に取り組む中において、理科教育を中心に「科学が好きな子ども」を育てる取り組みを長年にわたって展開されてきました。こうした真摯で地道な実践の中で、今回の論文では、2014年度からの4年間の「わくわく」「じっくり」「なるほど」をキーワードとした授業改善の取り組みを踏まえ、「教科プロジェクト」、「連携プロジェクト」、「環境プロジェクト」を掲げ、PTA や大学等と連携して学校全体で総合的な取り組みを展開されています。

授業改善の柱となる「教科プロジェクト」では、教材の工夫と発問に視点を当て、子どもたち一人一人が自分の課題をもって問題解決を図る理科・生活科の実践が展開されています。教材と発問は、授業を構成する基本的な要素ですが、実際の授業展開においても実践を重ねた貴校ならではの内容を示していただきました。

■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。

元文部科学事務次官の御手洗 康氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、「最優秀校」など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉—子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>